

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 20 年 9 月 29 日
理事長 間宮 忠敏

2007 年の国際会議開催統計 (UIA 暫定値統計) 発表 日本は世界第 5 位 (アジア第 2 位) - 計上方法変更等により大幅増 -

UIA (国際団体連合: Union of International Associations、ベルギーに本部を置く国際機関で、世界の各種団体の活動や国際会議の開催状況を取りまとめている) では、この度、2007 年に世界で開催された国際会議の統計を発表した。(数値は全て速報値。国と都市のトップ 10 及び合計件数についてのみ発表)

これによると、2007 年に世界で開催された国際会議件数は前年比 16.3% 増の 10,318 件となった。日本は開催件数を、2006 年の 166 件 (18 位) から 448 件と大きく伸ばし、同じく大幅に件数が増加したシンガポール (466 件、世界 4 位、アジア 1 位) に次いで世界 5 位 (アジア 2 位) とベスト 10 入りした。また、都市別開催件数でも東京が 126 件 (世界 8 位、アジア 2 位) とベスト 10 入りした。アジアの都市別では、シンガポールが 1 位 (465 件)、ソウルが 9 位 (121 件) であった。(詳細は別紙表及び注参照)

2007 年統計において日本が大きく件数を伸ばした理由の一つとしては、UIA が従来の国際会議の基準を緩和したためである。

また、今回、国際会議開催・誘致拡大局長級会合の枠組みを活用して初めて我が国の国際会議開催実績について、UIA 統計スケジュールに合わせて前倒しで各府省庁・都市・会議場・大学等に対して網羅的に調査・集約の上、UIA に報告したことも一因である。

しかしながら、観光立国推進基本計画 (平成 19 年 6 月 29 日閣議決定) に定められた目標値における基準に照らすと、2007 年の国際会議開催件数は 216 件 (前年比 30.1% 増) であると推察され、前年の 166 件と比較して増加したものの、252 件の目標値には達しておらず、引き続き、国際会議開催・誘致を推進していく必要がある。

JNTO は、平成 15 年 (2003 年) に開始されたビジット・ジャパン・キャンペーンと連動して、地方コンベンション都市 (国際会議観光都市を含む) と一体となって、国際会議の誘致や開催支援活動に取り組んできている。

本件に関するお問い合わせ先: コンベンション誘致部
山下、小堀 TEL: 03-3216-2905